

が (②) に入る可能性の高い選択肢として考えられます。

第5パラグラフ

選択肢ウの中にある “a common language” と似た表現の “the same language” が見つかりますので、ウが (③) に入る可能性の高い選択肢として考えられます。

手順4：パラグラフ・リーディングから得た手がかりをもとに全文を読む

手順3までで得た手がかりもとに全文を読みます。実際に全文を読んでから問い(1)、問い(2)の答えを考えてみれば、予測は的中していたことがわかるはずです。(問い(3)についてはパラグラフ・リーディングとは直接関わりがないので、ここでは省略する) このように、たとえ空欄の多い長文問題であっても、その英文がパラグラフ構成のしっかりしたものであれば、パラグラフ・リーディングの知識を生かして全文を理解することができるのです。

2 大学入試センター試験編

(1) センター試験は読解力重視の問題構成

98年度センター試験の内容・配点、出題領域は以下の通りです。読解力を必要とする問題は200点中142点と約7割を占めています。80分で大問が6つあるということは、それぞれの大問にかけられる時間は約15分程度。短い時間内に内容を把握する力が求められています。

問題番号	内 容 と 配 点	出題領域	
第1問A	第一強勢の位置	6点	発 音
B	下線部の発音の異同	6点	
C	文中で強く発音される語	6点	
D	対話文の空所補充	12点	
第2問A	短文の空所補充完成	28点	文法・語彙
B	短文の空所補充整序	12点	表 現
第3問A	短い説明文の空所補充	6点	読 解
B	英文の整序	7点	
C	説明文の空所補充	7点	
第4問	図表を用いた読解(調査報告)	27点	
第5問	長い会話文(図・絵入り)	30点	
第6問	長文読解(物語文)	53点	